

2011年度に向けて 施設長 高井 睦美

昨年12月の自治会の防災訓練のときに虹の家のことや、車椅子の取り扱い説明などをさせていただいてから近所を散歩していると地域の皆さんからあたたかい声をかけていただけるようになったことは私たちにとってもうれしいことです。また防災訓練のときに呼びかけた新木野地区の高齢者見守りネットワークを作ろうという件について1月27日再度その懇談会を開催したところ60数名の方が参加いただき、見守り協力員も90名余りになりました。今後このネットワークの構築に向けて地域包括センターとも連携しながら虹の家も協力をして、この新木野地域で安心・安全に暮らしていけることのお手伝いできればと考えています。

一方、虹の家のご利用者の平均年齢が86歳と高く、在宅生活を支援しての生活継続が困難な方も出てくるのが懸念される時、他の事業者との連携や医療との連携が益々必要になってくると思います。私どもの限界を見極めた上で地域包括センター等協力をあおぎながら今後もおひとりお一人の生き方に職員一同一丸となって向き合っていきたいと思えます。

第二回 地域の居場所・デイサービス 全国実践交流セミナー in せんだい に参加して

斉木 梅枝

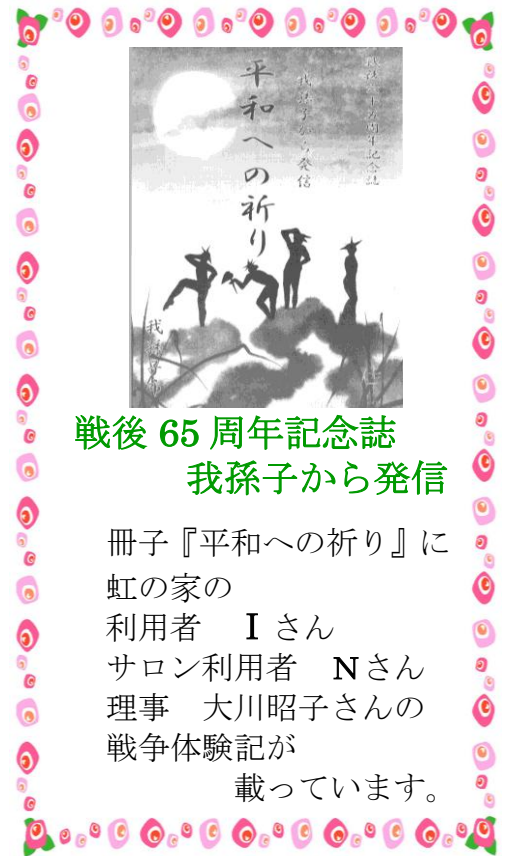
仙台に2日間いましたが大学構内だけの移動で、名所などの見物が少しはできるのかな(?)の期待は見事にはずれました。が、実践発表の空気に沢山刺激を受けて無事帰ってきました。(10日後の東日本大震災を思うと信じがたい。ご冥福をお祈りします。)

片田 清子

地域の中で支援してきた虹の家の実践発表は、発表現場での質問は少なかったものの、夜の交流会で他の事業所の方々と名刺交換や談話の中で、スタッフをはじめ利用者さん地域の方々にいかに支えていただいているかとても実感しました。皆様方に送り出さいただき感謝です。

高井 睦美

15年前、利用者により添った小さな事業所を始めたいと仙台のセミナーに参加して、その時分科会で同じ思いを熱く語りあったIさんと15年ぶりにお会いしました。二人ともそれぞれの地で頑張ってきたことを感謝して又今日から次に向けて歩もうと思った仙台の旅でした。



戦後65周年記念誌 我孫子から発信

冊子『平和への祈り』に
虹の家の
利用者 Iさん
サロン利用者 Nさん
理事 大川昭子さんの
戦争体験記が
載っています。

職員からのひとこと

介護スタッフ 染谷 京子
出身地 東京都
住所 茨城県取手市
生まれた日 申年9月12日

私の父は足が不自由になり閉じこもりがちでしたが地元のデイサービスに通い始めました。

デイサービスでは昔からの知人に会えたり、80歳を過ぎて新しく友人ができたりと、生活に張りが出て来たようです。そんな父の嬉しそうな話を聞いて、ぜひ私も皆様の一助になればと「虹の家」の一員にさせていただきました。皆様の多くの笑顔が見られるよう頑張りますのでよろしくお願いいたします。



訃報

4月13日、「虹の家」の元大家さんのNさんがご逝去されました。Nさんは亡くなる1週間前まで「虹の家」の自分の部屋で過ごしておられました。安らかに眠りください。合掌！